

イラク戦争が残した中東のパンドラの箱 —シリア、エジプトでの混乱

千葉大学法経学部教授 酒井啓子

- * 中東で大きな構造変化が起きている
- * 激変した中東における対立の構図
- * エジプトの民主化はなぜ失敗したか
- * ムスリム同胞団は慈善運動で強み
- * 反イスラムの軍を支援したサウジ
- * シリア内戦は周辺国の代理戦争に
- * シリアで再現されるアフガンの光景
- * 米イラン関係改善と旧同盟国の不信
- * アメリカとサウジの微妙な関係
- * 中東外交は重要だがリスクも潜む



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、中東の専門家であらう酒井先生においでいただきました。ちょっと間が空いてしまいましたが、ここ数年は、アラブの春もありましたし、シリアの問題もまだ尾を引いていますし、エジプトはまた騒がしくなっておりますし、いろいろ問題が次々と起きております。酒井先生は80年代にイラクへ行かれて、その後エジプトなどたくさん現地を見てこられていて、中東については、おそらく、いちばん現実をご覧になって分析をされている方だと思っております。

今年も、たまたま中東問題の専門家をお呼びしておりますので、皆さんも断片的な情報が入っていないのではないかと思いますし、メ

ディアはどうも上っ面しか報道してくれません。今日は、中東問題については詳しくなっております。では酒井先生、よろしくお願いいたします。（拍手）

酒井 ご紹介にあずかりました酒井でございます。こちらのほうには過去3回ほどお話をさせていただきましたが、私はこちらに呼ばれるときは、何か大きな事件が起こったときに限られております。3年ぶりにこちらに伺ったということは、なるほど、ここに呼ばれるほど、やはり中東は今大きく揺れているのだと改めて実感した次第です。

私は専門がもっぱらイラクを中心にしてきましたので、思い起こせば、こちらでのテーマも、9・11から始まり、イラク戦争をめぐる動向に